都留高半端ないって！そだねー

都留高ニュース

発行所
山梨県立
都留高等学校
大月市大月
2丁目11-20
編集
都留高校
新聞同好会

2018年締め括り特集号

芸文祭・新人戦が終了し、２０１８年も残り半月となった。毎号充実した新聞を作ることができたのは、皆さんの活躍と協力のお陰だ。今年の最終号は芸文祭・新人戦での活躍を中心に４面構成でお届けする。

読書感想文コンクールの賞を独占した都留高の３名のみなさん

山梨県芸文祭開催！

11月8日には芸術文化祭のパレード及びグランドステージが行われた。午前中は甲府市内のパレード、午後はコラニー文化ホールでのセレモニーという二部構成で、県内各地から高校生が集まった。

パレードにぴったりな青空の下、音出しをしていた都留高吹奏楽部長、桐谷美里さんは「他の高校とコラボする機会はめったにないので、楽しみたいです。」と話してくれた。出発式で激励を受けた後、県下の吹奏楽部、チアリーディング部に所属する生徒が甲府市街へ繰り出した。YOUNGMANやCISPを演奏しながら甲府の中心街を一周し県民を沸かせた。

午後のグランドステージでは、学校代表として生徒会長の平井駿之介さんが校旗を持って堂々と入場した。また、ポスター、標語の優秀者の表彰、茶道部門と商業部門の活動紹介などが行われた。県下の合唱部による美しいハーモニーでステージが締めくくられた。

参加したすべての生徒がそれぞれの場所で輝いた、素晴らしい芸文祭のオープニングだった。（花）

今、注目の人　水野孝幸さん

山梨県英語スピーチコンテストにおいて、都留高創立以来の快挙を果たした水野さん。その姿はまさに英語のプリンス（!?）さっそく取材しました!!

記者（以下、記）「2位入選、関東出場決定、おめでとうございます」

水野さん（以下、水）「ありがとうございます」

記「サッカー部にも所属するなかで、両立するのは大変だったのでは」

水「そうですね。部活と勉強の合間を縫って練習しました。放課後は五時くらいまでデュークと練習して、その後部活して…足りない分は自主練で補いました。大会直前の週に怪我をしてしまって、あまりサッカーができなかったので、その分英語の練習に打ち込みました」

記「スピーチはどのような内容でしたか」

水「テーマは『言葉の力』です。スピーチの最後は『言葉は未来を変えられる、世界を変えられる、あなたを変えられる』とまとめました」

記「英語を好きになったきっかけは」

水「小学校の時は嫌いでした。でも中1のとき、先生に発音を褒められたんです。それで『俺、英語得意かも』と思ったのがきっかけですかね。」

記「英語が苦手な人にアドバイスを」

水「難しいですね。とりあえず、英語を好きになることが大切だと思います」

記「関東大会にむけて意気込みをお願いします」

水「県大会では不安がありましたが、2位になって自分の実力に自信を持つことができました。関東では1位を取る心意気で頑張りたいと思います」

取材を通して水野さんの英語への熱意を感じました。関東大会は12月15日(土)二年生は修学旅行の前日です。みんなで応援しましょう！ぜひ、頑張ってください！（夢）

水野さんとデューク先生

すごいぜ運動部、さすがだ文化部！

～都留高秋の活動記録～

秋の新人戦、芸文祭が無事に終了した。今年は例年以上に多くの人が（紙面が字で埋まってしまうくらい!!）たくさんの結果を残してくれた。夏休み以降の結果を納め式よりお知らせする。（夢・花）

体育局

水泳

□全国ＪＯＣジュニアオリンピックカップ
▼男子50ｍ自由形　第7位　岩崎世那
□長野・山梨・群馬三県対抗水泳競技大会
▼男子50ｍ自由形　第2位／男子100ｍ自由形　第1位／男子400ｍメドレー第3位　岩崎世那
▼女子200ｍ背泳ぎ　第3位　新井ひかり
□山梨県高等学校学年別水泳競技大会
▼男子50ｍ自由形第1位／男子100ｍ自由形第1位　岩崎世那
▼女子1年第1位／女子100ｍ背泳ぎ第1位／女子100ｍ自由形第3位　林楓子
▼男子50ｍ自由形第1位　三浦颯葉
▼女子200ｍ平泳ぎ第1位／女子100ｍ平泳ぎ第3位　田村亜弓
▼女子100ｍ背泳ぎ第1位／女子200ｍ背泳ぎ第1位　新井ひかり
▼女子100ｍバタフライ第2位　石井乃愛
▼男子100ｍ背泳ぎ第3位　鈴木仁
▼男子50ｍ背泳ぎ第3位　花園龍青
▼男子100ｍ平泳ぎ第3位　石井駿介
▼男子100ｍバタフライ第2位／男子200ｍバタフライ第3位　小田岳樹
▼女子200ｍ自由形第2位／女子100ｍ背泳ぎ第3位　古屋里紗
▼女子100ｍ背泳ぎ第2位／女子200ｍ平泳ぎ第2位　横瀬真依
▼女子100ｍ平泳ぎ第2位　藪田希紅
▼女子50ｍ自由形第2位　降矢多恵
▼男子1年4×50ｍリレー第3位
▼女子3年4×50ｍリレー第2位
▼女子2年4×50ｍフリーリレー第2位
▼女子2年4×50ｍメドレーリレー第2位
▼女子2年4×50ｍリレー第2位
▼女子1年4×50ｍメドレーリレー第2位
▼女子1年4×50ｍリレー第2位
□高等学校新人体育大会
▼男子50ｍ自由形第1位／男子100ｍ平泳ぎ第1位　岩崎世那
▼男子100ｍ自由形第2位　三浦颯葉
▼男子200ｍ自由形第3位　鈴木仁
▼男子100ｍ背泳ぎ第3位　小林大翔
▼女子200ｍ自由形第3位　藤本菜々
▼女子50ｍ背泳ぎ第2位　林楓子
▼女子100ｍ背泳ぎ第1位／女子200ｍ背泳ぎ第1位　新井ひかり
▼女子100ｍ平泳ぎ第3位　藪田希紅
▼男子4×100ｍリレー第2位
▼女子4×100ｍリレー第2位
▼女子4×100ｍメドレーリレー第2位
▼男子総合第2位
▼女子総合第2位
□山梨県水泳連盟最優秀選手賞／岩崎世那
□山梨県水泳連盟ジュニア優秀選手賞／新井ひかり

陸上

□高等学校学年別大会兼国体選考会
▼少年男子走り幅跳び第1位　金子知樹
▼少年男子走り高跳び第3位　土屋俊貴
▼少年男子円盤投げ第3位　坂本優
▼少年男子110ｍＨ第3位　竹田功輝
□高等学校新人体育大会
▼男子100ｍ第5位　藤本功輝
▼男子100ｍＨ第1位　竹田浩樹
▼男子円盤投第2位　坂本優
▼男子走高跳第1位　土屋俊貴
▼男子100ｍＨ第2位／男子走高跳第3位　藤木大嗣
▼男子三段跳第1位　土屋俊貴
▼女子走高跳第2位／女子100ｍＨ第6位　山崎るな
▼女子三段跳第4位　花田小春
▼男子800ｍ第5位　小黒陽太朗
▼男子走幅跳第6位　金子知樹
▼女子ハンマー投第4位　田中理帆
▼男子1500ｍ第5位　関本諒
▼男子500ｍＨ第4位　竹田浩樹
▼男子砲丸投第2位　坂本優
▼男子4×100ｍＲ第4位　川村・竹田・金子・藤本
▼男子4×400ｍＲ第6位　川村・竹田・金子・藤本
▼男子総合第3位

男子バドミントン

□山梨県ダブルス選手権大会
▼男子Ｂ級第3位　荻原大晴・菊池央人
□関東高等学校選抜バドミントン大会山梨県予選
▼男子団体第2位（関東選抜大会出場へ）
▼男子ダブルス第2位　荻原大晴・菊池央人

女子バドミントン

□山梨県ダブルス選手権大会
▼女子Ｂ級第3位　柴崎里菜・佐藤麻裕

ワンダーフォーゲル

□関東高等学校登山大会通算32回出場表彰

男子ソフトテニス

□ソフトテニス新人大会
▼男子個人第3位　武井晴樹・矢田将隆
□曽根杯争奪大会
▼男子個人第3位　武井晴樹・矢田将隆

女子バスケ

□バスケットボール1年生大会　第3位

空手

□空手道新人大会　女子団体形　第3位

卓球

□新人体育大会　男子学年対抗　第3位（関東新人大会出場へ）

文化局

つる探

□芸術文化祭
◇社会科学部門
優秀賞　大月遺跡の研究
奨励賞
甲州街道のおもしろい地名
／郡内小山田氏の研究
／都留高校周辺の地名の由来
◇自然科学部門
芸術文化祭賞
岩殿山礫岩層の礫の起源
教育長奨励賞
ウスバキトンボの飛翔能の性差
／Mind Reading Eggは実現可能か

文芸

□青少年読書感想文山梨コンクール
県知事賞　木下夢実
県議会議長賞　高橋愛美
県教育長賞　相沢つかさ
特選　阿竹花菜女
古屋里沙
入選　宗形七海
□芸術文化祭
▼詩　優秀賞　高山恭輔
▼短歌　優秀賞
永田莉菜／小林耕太／
大野智子／雨宮和音
岡本実留／徳植映
▼俳句　優秀賞
磯部ルミカ／小林未羽
小林結女／佐野知美
阿竹花菜女
□小論文・読書感想文コンテスト
優秀賞　渡辺真日呂
□大月市文化祭短歌展
文化祭賞　上條萌詠
文化協会賞　笠原博雅
短歌連盟賞　佐藤壮真
推薦　田中優真
三浦愛理／内藤実祈
特薦　上條萌恵
高橋奈津士／河﨑七海

囲碁・将棋

□芸術文化祭
▼将棋
優秀賞　平井駿之介
▼囲碁
優秀賞
Bパート　堀江勇斗
Cパート　佐伯哲郎
杉本幸宏
団体戦　優秀賞

写真

□山梨県民文化祭写真展
入選　山本桐花／
丸野由美／阿竹花菜女
□秋季審査会
団体　第３位
銀賞　山田唯
銅賞　藤本尚也
入選　中村天音
佳作　市川穂佳／椙本圭
□芸術文化祭
優秀賞　阿竹花菜女

美術

□芸術文化祭
奨励賞　上條萌詠
□やまなしティーンズメッセージ
ポスター佳作　菅谷莉子
□ＵＴＹ教育美術展
山梨新報社賞　鈴木海遙
□大月市文化祭
特選　若野樹／中村美秋
三木梨嵯／鈴木海遙／
佐藤由基

書道

□高等学校書道パフォーマンス大会　奨励賞
□芸術文化祭
優秀賞　渡部知恵

合唱

□芸術文化祭　優秀賞

放送

□芸術文化祭
オーディオピクチャー部門　優秀賞

箏曲

□芸術文化祭　奨励賞

新聞

□芸術文化祭　優秀賞

その他

□高等学校英語スピーチコンテスト
第２位　水野孝幸
□科学の甲子園山梨県予選　総合競技　第３位

大月くいだおれ紀行

～みやじま編～

新企画『大月くいだおれ紀行』！この企画では、大月のおいしい情報をおとどけしていきます。待望の第一弾は「みやじま」さんです！
冬の寒さを感じる中、さっそく店内へ。ノスタルジックで素敵な佇まいです。親子で切り盛りされているお店は、明るく快活な雰囲気でした。
お話は、宮島仁さんに伺いました。
開業したのは――
昭和６３年です。３０年ほど前ですね。
お店が長く続いた秘訣は――
分からないなあ。気づいたら何十年も続いていたから。みなさんに感謝ですよ。
座右の銘は――
（ご主人）「一生懸命頑張る！」
都留高生は――
最近は増えてきましたよ。こまっちゃんがなくなってしまったから――学生さんは、たくさん食べてくれるからありがたいです。
都留高生にメッセージを――
うちのご飯を食べて、元気に頑張ってください！

――人気メニューをいただきました。お料理はどこか懐かしさを感じる、優しい味です。

木須肉定食（ムーシューロウ）
たけのこや木くらげ、ほうれんそうの卵炒め。濃いめの味付けでご飯が進む！おいしい！！！！！
紙カツ定食
カツが薄いことが名前の由来。とはいえ、なかなかのボリューム！ソースをかけず、キャベツといただく。秘伝の味付けのキャベツはさっぱりとした味わいで、揚げ物なのにくどくない…お箸が止まらない！

お昼時には、コーヒーかアイスのサービス付きです。
地域の方から愛される、素敵な定食屋さんです。お昼はぜひ、『みやじま』さんへ！

電話番号（22）0285
営業時間11時半～2時
17時半～21時半
定休日　水曜

宮島さん一家（お店の前で）

大月市広報誌プレヴュー

星野家住宅訪問

大月市とのコラボレーション企画第二弾は、星野家住宅を取り上げます。通学中通るけれどよく知らない…という人も多いはず！現在の当主、星野喜忠（ほしのよしただ）さんへのインタビューで紹介します！（花）

記者（以下、記）「お仕事の内容を教えて下さい。」

星野さん（以下、星）「現在ロータリークラブのガバナー、本陣（星野家）の当主、富士納豆製作所代表という3つの顔をしています。」

記「富士納豆はいつから作っているんですか。」

星「大学の農学部で学んだ祖父が始めました。今は大月を中心とした郡内地域、一部は東京で販売しています。パッケージのデザインがレトロだと好評です。大月産の大豆だけを使った『おおつきなっとう』も作っています。」

記「これからの目標を教えて下さい。」

星「大月で採れる大豆を増やして、おおつきなっとうを広めたいです。また、この家には、３万点を超える文書があります。それらと、民家に眠っている歴史的な資料を合わせて展示できる場所を作りたいです。」

記「学生時代になにかやっておくと良いことはありますか。」

星「以前海外に滞在していた時の経験から言うと、広い世界を見て欲しいです。地元に貢献するのも良いことだけれど、若いうちに大きな世界を見てから地元に戻ってくると見方が変わります。」

記「私達若者にメッセージをお願いします。」

星「色々な人と知り合い、経験をして、大きな世界へ羽ばたいてください。自分の出身地や日本を語れないと国際人にはなれないと思います。地元を出ても、地元への思いは忘れないでください。ふるさとを知る、という点では、ぜひ高校生に見学に来て欲しいと思います。」

展示してあるどの資料も貴重なものばかりで、驚きの連続でした。学校から歩いて行ける場所なので、皆さんもぜひ見学しに行ってみて下さい。星野さん、インタビューありがとうございました！（広報２月号に掲載予定です）

ここで星野家について紹介します。星野家は甲州街道・大月宿の西隣にある花咲宿の名主を務めていた旧家であり、下花咲宿の本陣です。江戸時代には、甲州勤番をはじめ大名や幕府の役人が宿泊しました。１８３５年焼失しましたが、その後再建されました。

主な展示品紹介

☆家相図
家の方角をチェックするための図面。重要文化財

☆星野家文書
参勤交代は年に一、二度しか行われないため、さまざまな仕事をしていたという。名主として、星野家が市役所のような役割を果たし、結婚や出生に関わる届け出を残した。それが、星野家文書だ。

☆上段の間（右写真）
殿様や、公家、皇族が休んだ部屋。書院造。明治天皇も休まれたお部屋だ。敷かれている絨毯は、天皇を迎え入れるためにあつらえたものだという。

☆大名用お手洗い
床は畳敷き。便器と備え付けの書見台は漆塗りで、刀を置ける作りになっている。奇襲されたときのために、入り口向きに座る。

案内をしていただいた星野さん

星野家住宅
場所　大月町花咲193
電話番号　0554-22-0006
見学前に一度連絡してください。
（いきなりだと対応できない場合も…）

速報！みんなの思いが伝わる

第一回都留高校フードドライブ週間

第一回都留高校フードドライブ週間が終了し７３，８４７グラムの食品（段ボール箱１７箱分）を、集荷拠点となっている大月市社会福祉協議会に12月10日、寄贈いたしたようです。今月下旬にはフードバンク山梨へと運ばれます。

詳しくは都留高校ホームページをご覧ください。

自学進取

◇今年の流行語の一つに「ボーっと生きてんじゃねーよ」が入っている。ボーっとしていた訳ではないが、センター試験が近づいている。今年は１月19日、20日だ。このセンター試験も２年後には大学入学共通テストに変わる。新しい受験制度に向けて三田紀房『ドラゴン桜２』（講談社）がスタートした。『ドラゴン桜』で東大受験を成功させた桜木弁護士とその時の生徒で東大に合格した水野女史が今の高校生２名への今後の受験体制に即しながらの特別授業が見ものだ。世界史のレベルアップにおいても「もっと教科書や一つの参考書などをボロボロになるまで読みこなすこと」は目から鱗であった。◇さてみなさんの教科書はどうですか？。何もせずボーっとしているとチコちゃんに叱られますよ。（木）

取材・広告希望の方は
新聞同好会（木内）まで